

2025

高岡万葉セミナー 「折口信夫と万葉集」

令和7年 9月6日(土) 13時～16時25分
高岡市万葉歴史館・講義室

開
催
中



特別企画展「折口信夫の能登・越中」
令和7年7月16日(水)～9月15日(月・祝)

●第1講 13:10～14:40

「万葉集と折口信夫

―巻十七講義録(未公開)に残された折口の見識― 藤原茂樹 館長

昭和11年、慶應義塾大学にて折口信夫が行った「万葉集巻十七」講義は、長らく池田家にて未公開のまま保管されていた。これは万葉学および民俗学にとって、極めて貴重な記録である。

今回のセミナーでは、折口の二人の弟子の池田弥三郎と戸板康二による講義筆記録をもとに、幻の講義を復元する試みを通じて、折口の学術的洞察に光を当てる。

●第2講 14:55～16:25

「折口名彙から見る『万葉びと』の世界像」 多田 一臣氏 (東京大学名誉教授)

折口信夫には、折口独自の思念が付与された学術用語が存在する。それを折口名彙と呼んでいる(命名者は池田弥三郎氏)。「万葉びと」というのもその一つだが、ここでは恋歌にかかわる折口名彙を手掛かりに、「万葉びと」の心性を探ってみたい。たとえば「いろごのみ」という言葉。『万葉集』にこの言葉は見えないのだが、「万葉びと」の世界像を知る上で大きな意味をもつ。そのあたりを手掛かりに、標題としたところに迫ってみたい。

●受講料 2000円(学生1000円)

●定員 先着120名

●申し込み方法

「高岡万葉セミナー受講希望」と書き、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を記載のうえ、ハガキ・電話・FAX・E-mail などでお申込み下さい。
高岡万葉歴史館受付でもお申込みできます。
受講料は、当日受付でお支払いください(おつりのないようご注意ください)。
※受講確認のハガキはお送りしません。
※内容など変更がある場合がございます。ホームページ等でご確認ください。

交通のご案内

◆最寄り駅 JR氷見線 伏木駅から

【当館までの距離 約1.5km】 徒歩約25分

◆JR・あいの風とやま鉄道 高岡駅から

【バス】 高岡駅前(北口)のりば④

加越能バス伏木方面(西回り)・伏木方面(東回り)のいずれかに乗車(約30分)して「伏木の宮バス停」で下車、徒歩約7分

【タクシー】 約20分

※「北陸新幹線 新高岡駅」と「JR・あいの風とやま鉄道 高岡駅」の間は、JR城端線またはバス便があります(所要時間約10分)

◆お車で

【能越自動車道】 高岡北インターから約20分、高岡インターから約25分

【北陸自動車道】 小杉インターから約35分、高岡砺波スマートインターから約35分

〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮1-11-11 TEL: 0766-44-5511 FAX: 0766-44-7335

○開館時間 午前9時～午後6時(11・12月は午後5時閉館) ※入館は閉館の45分前まで
火曜日休館

○観覧料 一般:300円 中学生以下:無料 65歳以上:240円 団体(20名以上):240円



高岡市万葉歴史館